第 10 回 11/30 「J-POP 進化論～Web「亀の恩返し」からはじまる J-POP の未来～」

亀田 誠治（かめだ・せいじ）先生 音楽プロデューサー

1964 年、アメリカ、ニューヨーク生まれ。辰年。
1989 年、音楽プロデューサー、
ベースプレイヤーとして活動を始める。
これまでに椎名林檎、平井堅、スピッツをはじめ
Do As Infinity、スガ シカオ、アンジェラ･アキ、JUJU、
秦基博、いきものがかり、チャットモンチー、
エレファントカシマシ、WEAVER、植村花菜、ハナエ、
MIYAVI VS KREVA など数多くのアーティストのプロデュース、
アレンジを手がける。
2004 年夏から椎名林檎らと東京事変を結成。
2012 年閏日に惜しまれつつも解散。
2007 年、第 49 回日本レコード大賞、編曲賞を受賞。
2009 年には自身初の主催イベント「亀の恩返し」を武道館にて開催した。
亀田誠治 Official Web Site 『亀の恩返し』〈http://kame-on.com/〉

《講義概要》

音楽プロデューサー、ベースプレイヤーとして、数多くのアーティストのプロデュースやアレンジを手掛ける亀田誠治氏が、J-POP の進化論について講義を行った。当日は当講座初となるニコニコ生放送による講義全編の生配信が実施され、受講生とインターネットを通じた一般の視聴者が講義中の質問を Twitter を通して行うという初の試みも実施された。

講義ではまず、J―POP の未来へ向けて、Web サイト「亀の恩返し」を通して亀田氏が行っている様々な取組みについて、実際にサイトを見せながら各コンテンツに沿って紹介した。亀田氏の経験やスキル、知識、情報などを発信・共有しているこのサイトは、音楽やアーティストと人々を手軽に、リアルタイムに繋ぐきっかけの場となっていること、そして、「亀田大学」というコンテンツにおいては、アーティストの発掘や未来の音楽業界を担う人材育成の場、「実学」を学ぶ場となっていることなどを詳しく解説した。さらに、サイトから派生して実際に開催しているライブイベントやベーシストコンテストについても紹介し、音楽産業の活性化へ向けた様々な角度からの新しいアプローチの形を示した。

最後は、デジタルネットを最大限に活用し、「どれだけ複数のメディアと繋がることができるかが J-POP が進化していく今後の大きな鍵である」と言及。デジタル化をポジティブに捉えて活用する亀田氏の姿勢から、学生は音楽産業の新たな可能性について考えるヒントを学んだ。

《受講生の感想》

●ネットを利用した音楽の共有について、こんなにも可能性があって面白いものだとは今まで思っていませんでした。音楽とネットの関係は、ダウンロードの違法問題など悪いイメージしかなかったのですが、今日の講義を聞いてネットを上手く利用すれば、人と人の繋がりで可能性がどんどん広がるとても期待できるものだと思い直すことができました。

立命館大学・産業社会学部・2回生

●亀田先生はインターネットをポジティブに利用し、アーティストの活躍の場を提供することでJ-POPの未来に可能性を広げる活動をされています。そういった活動が広がりを見せ、音楽業界に浸透していけばそれは進化であると思いました。

立命館大学・産業社会学部・3回生

●デジタル文化、様々なメディアを利用して、これから J-POP、音楽産業は進化していくと仰られていて、すごく納得させられました。また、音楽とメディアをどれだけ関わり結びつけるかが重要と言われていたのが心に残り、考えさせられました。確かにデジタルの捉え方、利用方法が重要なのだと考えさせられました。

立命館大学・産業社会学部・3回生

●自分の持っている思いや技術をみんなに共有していこうという亀田先生の考え方に私はとても感動しました。これからもっとJ-POPを広めるためには、あらゆるメディアと繋がっていかなければならないということを改めて痛感しました。

立命館大学・産業社会学部・3回生

●ベーシスト、プロデューサー、アレンジャーとしての生のお話しが聞けて本当に充実した90分でした。表現のサイクルを大切にし、『循環』させるべく活動をされていると感じました。また、Web だけで完結するのではなく、３次元へ活動を延長していくことで新たな道や新たな可能性を切り開いていくことができると思いました。　立命館大学・産業社会学部・2回生

●今回の講義では、ニコ生を使っていたので、リアルタイムで伝えられる、リアルタイムで共有し合える良さというのを実感することができました。WEB や SNS を使った映像や画像の影響力というのはすごくて、これをうまく生かして利用していくことで、これからの音楽界は進化していくのだと思いました。

立命館大学・法学部・3回生